

令和3年度 埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム前期（オンライン）
中間レポート(2)

チーム OSGS!

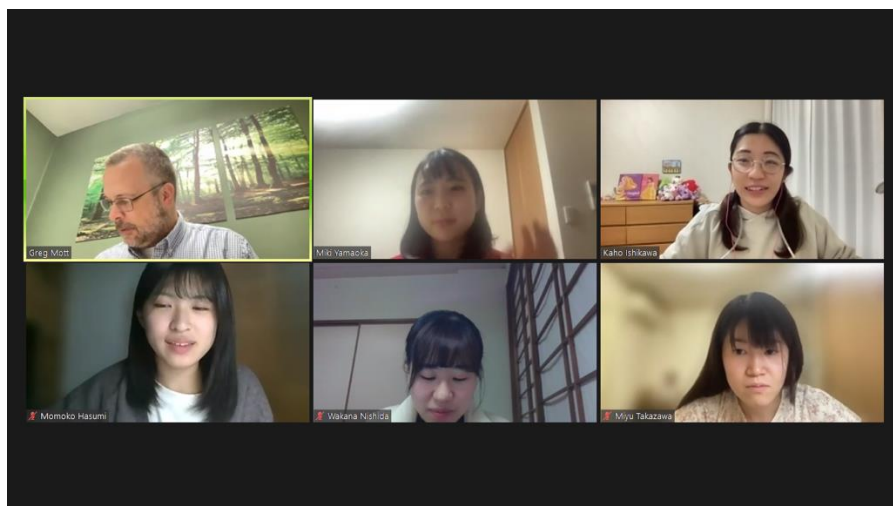
山岡美貴

あっという間にプログラム開始から約4ヶ月が経ち、ついに終盤を迎えました。この4ヶ月を一言で表すなら「充実」という言葉がぴったりだと思います。このプログラムを通じ様々なことを経験することができ、たくさん考えて、たくさん笑った4ヶ月間でした。

今回はそんな4ヶ月間のことを授業、ゲストスピーカーとのオンライン対談、キャンパスツアー・埼玉県紹介の3つに分けて書いていきたいと思います。

[授業]

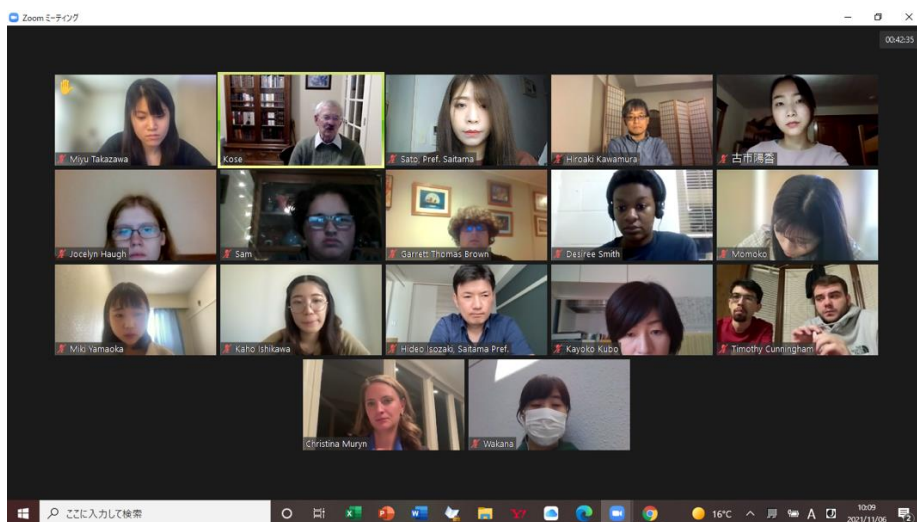
回数を重ねるにつれて、段々と具体的なプレゼンテーションのコツや話し方の説明が多くなってきました。また、ミニプレゼンテーションも3回やりました。そんな中でプレゼンテーションへ向けた「正しい準備の方法」を学ぶことができました。というのも、私はこれまで、プレゼンテーションをする際にはスクリプトなども含め全てを準備しておくべき、だと考えていました。しかし、Greg 先生からはスクリプトは準備せず、とにかく聞き手に自分のことばで伝えること、会話の時のように声を弾ませることが重要だと教えていただき、それまでの自分の固定観念を覆すことができました。



[ゲストスピーカー]

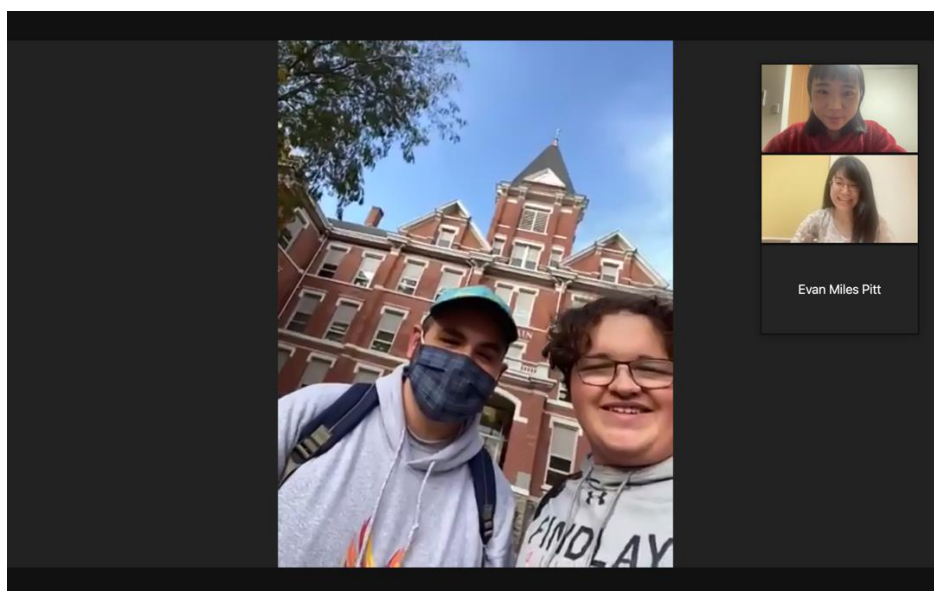
フィンドレー市長の Christina Muryn 氏をはじめ、4人のコロナ対策に関わったエキスパートの方々とオンラインで対談させていただきました。コロナに関する具体的な話ばかりでなく、4人の仕事に対する姿勢や考え方など様々なお話を聞くことができました。また、

私たちの質問にも丁寧に答えていただき、この対談で聞いたこと、学んだことは私にとってとても大きかったと思います。



[キャンパスツアー・埼玉県紹介]

フィンドレー大学の学生に協力していただき、オンラインキャンパスツアーを行いました。また、私たちもオンラインで埼玉県を紹介しました。どちらも現地からの中継形式で行われたため、インターネットなどではなかなか知ることのできない「生の様子」を知ることができました。フィンドレーをより身近に感じることができ、埼玉県とオハイオ州、姉妹州省ならではの絆の強さのようなものを感じられた気がします。



授業やイベントをやっていくうちに、我々参加者はもちろん、県庁の方々、先生方、フィンドレーの関係者の皆様との結束力が強くなり、「チーム OSGS」ができてきているような感じがします。このプログラムに参加することができてよかった、と思えるような出会いや経験に溢れた4ヶ月間でした。今回このプログラムを通じて学んだことを今後へつなげるた

めにも残りわずかですが、よりエネルギーに、より積極的に、活動していきたいと思
います。

